

学科 学年	C2	科目分 類	数学A I Mathematics I	講義 必修	H. 22前期 2 単位	学習教育 目標	2	担当	谷 次雄 TANI Tsugio
概 要	1 変数の関数の微分法である。								
科目目標 (到達目標)	関数の微分係数、導関数を理解し、基本的な関数の導関数を求めること、関数の接線, 凹凸、極値等に応用できること。								
教科書 器材等	新訂・微分積分1 (大日本図書), 新訂・微分積分1 問題集 (大日本図書), 新編・高専の数学 1, 2 問題集 (森北出版)								
評価の基準と 方法	試験の成績で100%評価する。黒板への問題解答を怠ったとき、真摯な学習態度でないとき、課題を提出しないときは20%の範囲で減点する。								
関連科目	1 年数学A I、数学A I I、数学B								
授業計画									
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)							
第 1回		関数の極限							
第 2回		関数の連続							
第 3回		微分係数							
第 4回		導関数							
第 5回		導関数の公式							
第 6回		合成関数の計算							
第 7回		演習							
第 8回		三角関数の導関数							
第 9回		逆三角関数							
第10回		逆三角関数の導関数							
第11回		演習							
第12回		指数関数の導関数							
第13回		対数関数の導関数							
第14回		演習							
第15回	×	定期試験							
第16回		平均値の定理							
第17回		関数の増減と極値							
第18回		関数の最大, 最小							
第19回		演習							
第20回		接線と法線							
第21回		不定形の極限							
第22回		演習							
第23回		高次導関数							
第24回		曲線の凹凸							
第25回		演習							
第26回		媒介変数							
第27回		媒介変数の微分法							
第28回		速度と加速度							
第29回		演習							
第30回	×	定期試験							
オフィス	原則として授業、会議、クラブ指導等のない勤務時間内、研究室前に掲示す								
授業アンケート	予定した項目をすべて教える。								
備 考									
更新履歴	2010/3/17								